

信州大学グローバル化推進センター 交換留学生 募集ガイド (2026年度秋学期)



信州大学の交換留学制度について

信州大学の交換留学プログラムは、大きく分けて2つの区分があります。

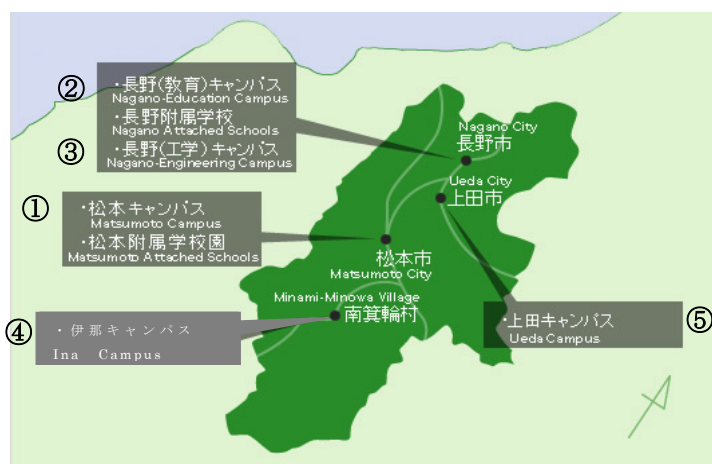
- A：信州大学グローバル化推進センターの交換留学生として所属し、日本語を中心に学ぶ
B：各学部・研究科の交換留学生として所属し、学部専門科目・研究などを学ぶ

この募集要項は、

- A：信州大学グローバル化推進センターの交換留学生として所属し、日本語を中心に学ぶ人むけの案内です。日本語を中心に学びますが、一定以上の日本語能力を持つ学生は、松本キャンパスで開講している学部開講科目（専門科目）を履修することもできます。
B：所属学部・研究科により交換留学生の受入条件が異なります。（学部の授業については、日本語で開講している授業がほとんどです。高い日本語学能力が求められます）
詳細については、各学部にお尋ねください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/prospective_students/contact_list_of_faculties_graduate_schools/

キャンパス	学部	詳細問い合わせ
① 松本キャンパス	人文学部 http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/	人文学部学務係 jgakumul@shinshu-u.ac.jp
	経法学部 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/	経法学部学務係 k_ryugaku@shinshu-u.ac.jp
	理学部 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/	理学部学務係
	医学部（医学科） https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/	医学部学務第1係・大学院係 mdaigak@shinshu-u.ac.jp
	医学部（保健学科） https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/health/	医学部第2係 ho_kokusai@shinshu-u.ac.jp
② 長野（教育）キャンパス	教育学部 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/	教育学部学務係 e_kokusai@shinshu-u.ac.jp
③ 長野（工学）キャンパス	工学部 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/	工学部学務係 tkokusai@shinshu-u.ac.jp
④ 伊那キャンパス	農学部 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/	農学部学務グループ nkokusai@shinshu-u.ac.jp
⑤ 上田キャンパス	繊維学部 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/	繊維学部学務係 fkokusai@shinshu-u.ac.jp



- ・①松本キャンパスと②～⑤のキャンパスは離れています。松本キャンパスに在籍し、他キャンパスの授業を受けることはできません
- ・1年間の交換留学を希望する学生のうち、前半6ヶ月に松本キャンパスで勉強し、後半6ヶ月をほかのキャンパスで勉強することもあります。その場合転居が必要です。

困ったら、信州大学グローバル化推進センターに聞いてください

E-mail: gec_inbound@shinshu-u.ac.jp

信州大学グローバル化推進センター交換留学生プログラム (2026 年秋期受入) 募集要項

1. 出願資格

以下の条件を満たしている者としします。

(1) 身 分：信州大学に交換留学生として在籍を希望する期間すべてにわたって、大学間協定校¹の学部あるいは大学院に在籍している学生（正規生）で、協定に基づいて信州大学に特別聴講学生として来る者。（研究を目的としてくる特別研究学生はプログラムの対象としない。）

(2) 期 間：2026 年 10 月から 1 学期（半年）または 2 学期（1 年間）在籍する者。数週間または 3 ヶ月程度で帰国する者は対象としない²。グローバル化推進センター学年暦は、次の URL をご覧ください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/prospective_students/basic_information_for_entrance/

滞在費：自費で本プログラムに参加を希望する学生は、留学のために十分な資金を持っていることが受入れの条件となります。受入前に留学生本人または家族名義の銀行残高証明書等を提出していただき、下記に相当する資金を確保していることを証明する必要があります。

※ 留学期間が 1 学期の場合：50 万円相当

※ 留学期間が 2 学期の場合：100 万円相当

(3) 報 告：交換留学中及び帰国後、信州大学からの各種調査や報告依頼に協力できる者。

¹ 各協定校での在籍期間が切れた時点で交換留学生の身分も消滅します。また、交換留学終了後、本学大学院への進学を希望する場合は、大学院入学予定 1 年以内に限り授業料不徴収で進学準備が出来る場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

² 本プログラムによらない交換留学を希望する場合は、できる限り早急にご相談ください。

本プログラムへの応募が多いため、上記の条件をすべて満たしていても、受入れが保証されるとは限りませんのでご注意ください。

2. 選抜

本プログラムは、以下のプロセスで選抜を進めていきます。

Step1【ノミネーション】 ※信州大学への申請締め切り： 2026 年 3 月 22 日

在籍大学の交換留学担当者にノミネーションを依頼してください。

所属大学から信州大学の締切日であること、所属大学内での締切日は所属大学の指示に従ってください。

Step2【申請書類の提出】 ※信州大学への申請締め切り： 2026 年 4 月 26 日

ノミネーション通過者は、在籍大学の指示に従い次の(1)～(10)の書類を提出してください。指定様式は信州大学グローバル化推進センターのウェブサイトからダウンロードできます。学生からの直接応募は受理しません。協定校は E メールで以下の必要書類を信州大学に送付してください。所属大学から信州大学の締切日であること、所属大学内での締切日は所属大学の指示に従ってください。

	書 類	備 考
(1)	申請パッケージ表紙<Sheet1>	在籍大学の交換留学生担当者が記入すること
(2)	申請書類チェックリスト<Sheet2>	学生本人が記入すること
(3)	交換留学生プログラム申請書<Sheet5>	学生本人が記入すること
(4)	JASSO 奨学金について<Sheet6>	学生本人が記入すること
(5)	健康診断書<Sheet7>	英語または日本語で記入してもらうこと
(6)	成績証明書	在籍大学様式：英語もしくは日本語
(7)	日本語能力証明書のコピー	所持している場合のみ
(8)	パスポートのコピー	写真ページ 過去に日本への入国歴がある場合は、上陸許可の証印（スタンプ）または VISA ページ
(9)	顔写真	jpeg ファイル サイズ：縦 600pixel×横 450pixel
(10)	経費支弁者の銀行預金残高証明書、または奨学金受給証明書	英語または日本語。（1 学期留学の場合：50 万円相当以上。2 学期留学の場合：100 万円相当以上）

Step3【在留資格認定証明書（COE）の申請】 2026 年 6 月～

学生は、オンラインシステムから信州大学へ、在留資格認定証明書（COE）の申請を行います。申請方法は後日、学生と各協定校へ連絡します。

上記(8)～(10)の書類を再度システムから提出してください。必要に応じて追加で他の書類を求めることがあります。システムの説明をよく読み、正確に記入してください。

Step4【合格通知・諸案内送付】 2026 年 6 月 上旬

信州大学は、5 月末の会議で交換留学生の受け入れを決定し、6 月上旬に各協定校に結果を通知します。その後、大学までのアクセスや生活案内、宿舍の申し込みなど入学に必要な情報をお送りします。

Step5【在留資格認定証明書（COE）の送付】 2026 年 8 月 上旬頃

信州大学は、在留資格認定証明書（COE）の確認を終え、6 月上旬頃に東京入国管理局に COE を代理申請します。COE が発行されるまで、2 ヶ月程度かかります。COE は発行後、電子メールで送付する予定です。すみやかにビザ申請ができるよう、申請方法を事前に調べておきましょう。

3. 授業料

学生交流協定により不徴収（ただし、在籍大学に授業料納付）。

4. 授業内容

信州大学で開講している科目を履修できるため、一般教養科目から専門科目まで多彩な授業を日本語で学ぶことができ、日本語能力の更なる向上と、専門性の高い学習効果が期待されます。信州大学の授業時間は、1 コマ 90 分です。毎学期 7 コマ以上の履修登録が必要です。

① 日本語集中コース

留学生を対象とした、文字・文法・会話など日本語学習を支援する科目です。日本語能力別のクラスに分けて授業を行います。日本語プレイスメントテストを行い、クラス分けを行います。

A クラス (JLPT N5 相当) 6 コマ/週

B クラス (JLPT N4 相当) 5 コマ/週

C クラス (JLPT N3 相当) 5 コマ/週

D クラス (JLPT N2 相当) ※

E クラス (JLPT N1 相当) ※

※D・E クラスは、②の授業に参加します。

② 日本語・日本事情教育科目

日本語の理解力・表現力を高める科目のほか、「日本」を深く知るための科目、例えば日本の伝統文化や日本企業の文化やビジネス日本語が学習できる科目があります。

④ 国際共修科目

使用言語：日本語・英語

信州大学では、留学生と国内学生が共に学び合う「国際共修」プログラムに力を入れています。このプログラムでは、異なる文化的背景、アプローチ方法、言語の違いを持つ学生との学びあいを通じ、多様な考え方を受け入れ、自己を見つめ直し、新たな価値観を獲得することができます。

グローバル化推進センターの交換留学生は、国際共修科目受講を必修としています。交換留学生の皆さんと信州大学の学生達が、国際共修の授業をとおして、良い交流をすることを期待しています。

⑤ 共通教育科目（専門基礎科目）

使用言語：日本語

信州大学の学部1年生は、全員が松本キャンパスで授業を受けます。学部1年生向けに開講している教養科目や専門基礎科目を受講することができます。授業は日本語です。一定以上の日本語能力が要求されます。

⑤ 学部専門科目

使用言語：日本語

松本キャンパスで開講される学部専門科目の一部を受講することができます。受講するには、来日後に実施する日本語プレイスメントテストにおいて、一定以上の日本語能力があると判断される必要があります、手続きで認められる必要があります。

なお、学部開講科目を受講するための日本語能力は、以下を目安としています。

テスト名称	JLPT (日本語能力試験)	J. TEST 実用日本語検定	CEFR
参考スコア	N2～N1 以上	準B級以上	B2 以上

授業の詳細は、下記 URL からシラバスが検索できます。

全ての授業：<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top> (日本語のみ)

交換留学生が多く履修する授業：

<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/tenkai/en/course/> (英語のみ)

5. 成績評価・修了要件

プログラム終了後、センターは授業科目名、成績評価及び単位数を記載した成績証明書を発行します。本募集要項末のサンプル資料をご参照ください。ただし、本プログラムで取得した単位が認定されるかどうかは、在籍大学の判断によりますので、応募する前に必ず在籍大学に確認し

てください。

なお、成績証明書の発行時期は、2026年秋期分は2027年4月初旬、2027年春期分は2027年10月初旬となりますので十分ご注意ください。

本プログラムでは、通年で10単位以上（半期で5単位以上）を取得し、修了発表を行った者に修了証書を発行します。

6. 宿舍・アパート・生活費

信州大学には、大学が運営する松本国際交流会館があります。本プログラムの留学生生活を充実させるために、優先的に入居できるように配慮しています。

信州大学松本国際交流会館（留学生寮）

松本国際交流会館の詳細については、こちらをご確認ください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/support_for_International_students/enrolling_students/student_life/

入寮費（初期費用）：約 95,000 円（1 年）、約 61,000 円（6 か月）

寮 費：月額 4,755 円（シングル／1 人部屋）

大学までの距離：徒歩 約 5 分

寝具（布団レンタル）：11,000 円（1 年）、5,500 円（6 か月） 希望者のみ

食事提供：なし

空調設備：エアコン（冷暖房）あり、暖房器具あり

<入寮の決定>

空き室の状況により、すべての方が入居できるかは限りません。応募多数の場合は、入居者を抽選で決めます。入居に関して、特段の配慮が必要な場合は、事前にお知らせください。

※寮費等は、毎年度見直しを行いますので変更の可能性があります。

<大学近隣のアパート>

近隣のアパートに入居を希望する学生には、不動産会社を案内しています。月々にかかる費用は、35,000～50,000 円です。物件によっては、別途、入居時・退去時に家賃の1・2ヶ月程度の費用が発生する場合があります

<日本での生活費>

長野県での一般的な生活のために必要な生活費用は、寮費を含めて8万円／月程度です。来日にあたり、余裕のある資金計画を立ててください。

7. 修学支援・スクールライフ・生活保険

（1）チューター制度

信州大学の学生が、チューターとして、留学生の学習（主に日本語や文化等に関する）や日常生活に関する助言・サポートなどを行います。渡日前から交流を始めるため、チューターが決まったら、交換留学生のメールアドレスを教えるので、連絡があったらお返事してください。

日本人学生との円滑な交流のため、交換留学生とチューターの組み合わせ、国籍、出身大学、専攻、宿舍区分（国際交流会館/アパート）および指導教員名が記載されたリストを、交換留学生とチューター学生に配布しますので、ご承知おきください。

（2）アカデミック・アドバイザー

交換留学生一人ひとりに、グローバル化推進センターの教員をアカデミック・アドバイザーとして配置し、指導にあたります。来日後、履修登録など学修計画を立てるサポートの他に、オフィス・アワーの時間を設け、交換留学中の学修・生活に関する相談に応じます。

(3) 課外活動

- ・サークル・クラブ活動

多くの交換留学生在が、信州大学のサークル・クラブ活動に参加しています。

- ・地域の方や附属小学校・中学校との交流活動

信州大学は地域住民の方と強い結びつきがあり、地域の方が、日本での留学生生活を充実させるための様々なイベントを開催してくれます。例えば、留学生日本語スピーチコンテスト、ハイキング、日本のお正月体験などのイベントがあり、多くの留学生が参加しています。

また、信州大学には附属学校園が併設されており、小中学生との国際交流にも参加することもできます。

(4) 生活保険

留学中の病気や怪我、万が一の事態に備え、安心して留学生活が送れるように、以下の保険に必ず加入していただきます。保険に加入するまで、旅行保険に忘れずに加入してください。

- ・国民健康保険

国民健康保険とは、日本で生活中に万が一、病気やけがをした時に、医療費の一部（一部負担金）を支払うことで診療を受けられる日本の保険制度です。原則として医療総額の 30% の自己負担で診療を受けることができます。日本での留学期間中は、「国民健康保険（学生負担）」に加入することが義務付けられます。入国後市役所にて手続きを行います。

- ・学生生活保険

信州大学の生活中に、事故・ケガ・盗難・災害や、他人の物を壊してしまった、怪我をさせてしまったなどの場合に備え、大学が指定する学生生活保険に必ず加入していただきます。

8. 日本学生支援機構（JASSO）奨学金

日本政府文部科学省は日本学生支援機構（Japan Student Service s Organization (JASSO)）との協力により「海外留学支援制度（短期受入）」に基づいて短期留學生に対する奨学金を支給しています。この奨学金制度は、日本の大学と海外の協定大学との間の留學生交流を推進し、日本と各国間の相互理解と友好親善を増進するとともに、日本の大学の国際化・国際競争力強化に資することを目的としています。

申請書類パッケージの Sheet.6 に書かれた説明をよく読み、資格・要件を満たし、奨学金を希望する場合は「Yes」を選択してください。資格を満たさない、または奨学金を希望しない場合は、「No」を選択してください。無記入の場合は「No」と判断します。

9. 交換留学に関する情報

下記 URL に交換留學生プログラムの情報が随時更新されますので、定期的に確認するようにしてください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/prospective_students/gec_exchange_student_program/

10. 問い合わせ先

交換留學生プログラムに参加する学生はグローバル化推進センター所属の学生となります。本プログラムに関するお問い合わせは以下の担当者をお願いします。

○教員 グローバル化推進センター教授 佐藤 友則

E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp

Tel : +81-263-37-3227

住所: 〒390-8621 日本国長野県松本市旭 3-1-1 信州大学グローバル化推進センター

○事務担当 国際企画課 天願 サユリ

E-mail: gec_inbound@shinshu-u.ac.jp

Tel : +81-263-37-3365

住所: 〒390-8621 日本国長野県松本市旭 3-1-1 信州大学グローバル化推進センター